

IGF 2025 NRIs Meeting第8回報告

開催日：2025年8月26日

主な決定と議論のポイント:

- 今後の作業計画: 参加者は、WSIS+20レビューやグローバル・デジタル・コンパクトの実施を控えているため、今後数か月間が非常に忙しくなると認識しました。このため、定期的なウェブセミナー形式のNRIs-to-NRIs(NRIs間の)意見交換は避け、必要に応じて既存のコミュニケーションチャネル(メーリングリストなど)を通じて実施することになりました。
- NRIsツールキットの見直し: NRIsを設立するための重要な文書である「NRIsツールキット」について、その関連性を評価するために見直す必要があることが再確認されました。ただし、WSIS+20の結果がNRIsに影響を与える可能性があるため、本格的な見直しは2025年12月以降に行うことで合意されました。当面は、改善点を特定する作業が推奨されました。
- NRIsのインパクトの文書化: 参加者はこの作業の重要性を強調し、事務局がNRIsにインパクトに関する調査を実施し、その結果をグローバルコミュニティ向けに可視化することが提案されました。
- 報告の標準化: 報告書の多様性とアクセスの課題を解決するため、報告の標準化を検討する提案がありましたが、参加者は過度に厳格なアプローチには慎重な姿勢を示しました。
- 第20回IGFセッション報告書の統合: 第20回IGFのNRIsセッションの報告書を単一の文書に統合するという提案は、この段階では支持を得られませんでした。
- 今後の行動: IGF事務局は、今後の作業計画のフィードバックをNRIsメーリングリストで募り、9月後半に次回会議の日程を調整するためのDoodleアンケートを送信します。また、事務局はIGFの成果に関する文書をNRIsに配布する予定です。